

# 芯

校長室通信 No. 4 2024/06/11  
文責：柿沼 透

「芯」・・・トウシグサの随の部分。(三省堂『新明解国語辞典』より抄)

トウシグサは和ろうそくの原料です。学校目標「しんの強い子ども」。花火のように華美ではないけれど、子どもたちの心の奥にある本気のともしび。その芯に火を灯す教育をみんなで進めていきましょう。

## 地学への旅立ち!

※義務教育「理科」7年間の地学分野導入にあたります。

学習指導要領(理科)では、「自然の事物・現象に働きかけ、そこから問題を見だし、主体的に問題を解決する活動や、新たな問題を発見する活動を更に充実させていくこと」が重要とされています。  
4の1石川先生の示範授業では、私たちが普段踏みしめている地面を教材に・・・



見て、触れて。普段見慣れている土・砂・じゃりが、石川先生の問いによって、学びに深まっていきます。

子どもたちを集めて、教師の実演。  
知的好奇心を見事に引き出していますね。



子どもたちの「知りたい」に、  
柔軟に答えて、再び実験。

まとめの活動も、  
集中して取り組んでいます。

休み時間も話し合っていました。  
すばらしいです。



子どもたちは、水のしみ込み方は土の粒の大きさによって違いがあることを、確かに理解できました。  
ちなみに土や砂利は、石川先生の自宅付近のものとのこと。教材収集への熱意を感じます。  
今日の授業によって、地学への扉が、子どもたちの興味関心と共に開かれました。